

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所 東
 コード番号 9996 URL http://www.satoh-web.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡本 雄次郎 (TEL) 022-236-5600
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,778	3.8	605	39.8	718	30.2	450	30.6
27年3月期第2四半期	22,918	4.1	432	25.0	552	22.4	344	25.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 455百万円(24.6%) 27年3月期第2四半期 365百万円(24.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	50.39	—
27年3月期第2四半期	38.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	29,398	20,016	68.1
27年3月期	28,581	19,668	68.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,016百万円 27年3月期 19,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	14.00			
28年3月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,100	3.1	1,106	2.2	1,328	0.1	925	2.4	103.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	9,152,640株	27年3月期	9,152,640株
28年3月期2Q	211,335株	27年3月期	211,275株
28年3月期2Q	8,941,336株	27年3月期2Q	8,941,427株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善が図られ、緩やかな回復傾向が続いております。景気の先行きにつきましても各種政策の効果により、緩やかに回復していくことが期待されておりますが、一方で、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、国内景気を下押しするリスクには留意する必要があります。不透明さが残る状況となっております。

食品業界におきましては、お客様の節約志向に変化が見られないなか、円安などによる原材料価格上昇への対応も求められており、厳しい環境で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループは、平成27年度経営方針「企業の質と価値を高める」を掲げ、お客様に喜んで頂けるきめ細かな営業活動ができる社員こそが企業の質であり、より優れた商品を提供すること、より付加価値の高いご提案をすることが企業の価値と考えております。この「質」と「価値」を高めるため、人材の育成とその環境づくりを最重要政策として進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新規開拓や既存のお客様への深耕が進んだ事、及び仕入れの見直しなどにより売上高、粗利益高は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は237億78百万円(前年同四半期比3.8%増)、営業利益は6億5百万円(同39.8%増)、経常利益は7億18百万円(同30.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億50百万円(同30.6%増)となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び北関東エリアの新規得意先様の開拓、既存得意先様への更なる深耕を行うために、製菓・学校給食・事業所給食・外食・惣菜それぞれが業種別の専門性を活かした展示会の開催、それを支えるため仕入先様とのより一層の協力的な関係づくり、更にはきめ細かな物流体制の整備など、総合力で営業活動に取り組んでおります。商品開発におきましては「J F S A」ブランドを中心とするオリジナル商品、東北各地域の原材料を使用した地産地消商品の開発、一方で、原材料価格の上昇による商品値上げに対応した提案商品の見直しなど、同業他社との差別化戦略(「質」と「価値」を高める提案力)に重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。

この結果、売上高207億64百万円(前年同四半期比3.4%増)、セグメント利益(営業利益)は7億20百万円(同40.6%増)となりました。

小売業部門におきましては、業務用食品専門店として、業者会員様へのサービス向上のため、ご来店時の商品提案型の接客営業や「C&Cメンバーズ・インフォメーション」による商品情報、専門商材の品揃えの充実など、付加価値が高くお役に立つ情報の提供を行っております。また、毎月初めに開催するスタートダッシュセールや業種別毎の特売イベントなど、活気ある売り場づくりにより、一般のお客様に対しても魅力あるオリジナル商品の充実に努め、より楽しく・買いやすく、そして次の来店に繋がる店づくりに取り組んでおります。その効果は、主要顧客であります中小飲食店業者会員様の来店数増加と新規会員様の増加に繋がりました。一方で、業績拡大のため業務用食品専門店として19店舗目となる「荒巻店」を仙台市内に開設いたしました。

この結果、売上高は30億13百万円(前年同四半期比6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1億78百万円(同8.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億16百万円増加し、293億98百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が3億69百万円、有価証券が8億20百万円それぞれ増加し、投資有価証券が4億93百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ4億68百万円増加し、93億82百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ3億47百万円増加し、200億16百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4億50百万円、剰余金の配当1億7百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.1%(前連結会計年度末68.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ5億円減少し、57億47百万円(前年同四半期48億37百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は5億29百万円(前年同四半期7億97百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9億21百万円(前年同四半期13億24百万円の使用)となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の償還及び取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億7百万円(前年同四半期1億7百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,048,589	1,047,918
受取手形及び売掛金	5,153,496	5,522,730
有価証券	6,279,803	7,100,000
商品	2,176,036	2,439,115
その他	627,090	530,170
貸倒引当金	△7,208	△7,433
流動資産合計	15,277,808	16,632,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,661,398	1,630,824
土地	3,994,426	3,978,948
その他(純額)	409,717	411,261
有形固定資産合計	6,065,541	6,021,033
無形固定資産	59,440	53,269
投資その他の資産		
投資有価証券	5,876,277	5,382,514
その他	1,310,642	1,314,455
貸倒引当金	△7,831	△5,581
投資その他の資産合計	7,179,088	6,691,389
固定資産合計	13,304,069	12,765,692
資産合計	28,581,878	29,398,194
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,746,251	7,371,445
短期借入金	590,000	590,000
未払法人税等	243,000	241,200
賞与引当金	272,775	348,899
その他	808,419	573,832
流動負債合計	8,660,447	9,125,377
固定負債		
役員退職慰労引当金	176,229	185,433
退職給付に係る負債	19,805	21,211
資産除去債務	5,995	6,049
その他	51,027	44,073
固定負債合計	253,057	256,766
負債合計	8,913,504	9,382,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	16,937,365	17,280,594
自己株式	△187,793	△187,860
株主資本合計	19,597,089	19,940,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,149	71,736
退職給付に係る調整累計額	2,134	4,063
その他の包括利益累計額合計	71,284	75,799
純資産合計	19,668,373	20,016,050
負債純資産合計	28,581,878	29,398,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	22,918,227	23,778,356
売上原価	19,052,117	19,621,009
売上総利益	3,866,110	4,157,347
販売費及び一般管理費	3,433,354	3,552,337
営業利益	432,756	605,009
営業外収益		
受取利息	67,948	67,876
受取配当金	4,191	5,080
持分法による投資利益	20,437	12,878
受取賃貸料	27,162	26,523
その他	7,941	9,253
営業外収益合計	127,681	121,612
営業外費用		
支払利息	1,461	1,434
賃貸収入原価	6,845	6,259
営業外費用合計	8,306	7,693
経常利益	552,131	718,928
特別利益		
投資有価証券売却益	3,476	—
特別利益合計	3,476	—
特別損失		
換地処分損	—	12,503
訴訟和解金	16,230	—
社葬費用	—	15,366
その他	76	2,862
特別損失合計	16,307	30,731
税金等調整前四半期純利益	539,300	688,196
法人税、住民税及び事業税	224,795	243,056
法人税等調整額	△30,461	△5,384
法人税等合計	194,333	237,671
四半期純利益	344,966	450,524
親会社株主に帰属する四半期純利益	344,966	450,524

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	344,966	450,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,784	2,586
退職給付に係る調整額	3,520	1,928
その他の包括利益合計	20,304	4,514
四半期包括利益	365,270	455,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,270	455,039
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	539,300	688,196
減価償却費	137,858	135,430
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,860	9,204
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,471	76,123
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,328	△2,024
受取利息及び受取配当金	△72,140	△72,957
支払利息	1,461	1,434
持分法による投資損益(△は益)	△20,437	△12,878
社葬費用	—	15,366
訴訟和解金	16,230	—
換地処分損	—	12,503
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,476	—
売上債権の増減額(△は増加)	△413,155	△369,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,720	△263,413
仕入債務の増減額(△は減少)	570,788	625,193
その他	134,766	△132,270
小計	996,918	710,673
利息及び配当金の受取額	75,615	85,802
利息の支払額	△1,463	△1,433
法人税等の支払額	△271,665	△250,631
社葬費用の支払額	—	△15,366
その他	△1,767	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	797,636	529,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,800,000	△2,500,000
有価証券の償還による収入	500,000	1,980,000
有形固定資産の取得による支出	△57,503	△93,027
無形固定資産の取得による支出	△818	△2,494
投資有価証券の取得による支出	△502,096	△1,002,100
投資有価証券の売却による収入	18,472	—
投資有価証券の償還による収入	500,000	700,000
その他	17,603	△4,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,324,341	△921,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	△45	△67
配当金の支払額	△107,297	△107,296
その他	△319	△361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,662	△107,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	165	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△634,201	△500,670
現金及び現金同等物の期首残高	5,471,447	6,248,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,837,246	5,747,918

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	20,074,043	2,844,184	22,918,227	—	22,918,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,074,043	2,844,184	22,918,227	—	22,918,227
セグメント利益	512,408	163,734	676,142	△243,386	432,756

(注) 1. セグメント利益の調整額△243,386千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	20,764,753	3,013,603	23,778,356	—	23,778,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,764,753	3,013,603	23,778,356	—	23,778,356
セグメント利益	720,424	178,092	898,516	△293,507	605,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△293,507千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。